

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒108-8550  
 住 所 東京都港区芝浦二丁目10番5号  
 氏 名 五十嵐冷蔵株式会社  
 代表取締役 五十嵐 康之

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	五十嵐冷蔵株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	神奈川県川崎市川崎区東扇島30-2		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	H	運輸業, 郵便業
	中分類	47	倉庫業
主たる内 容	食品の冷凍・冷蔵及び保管		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	4,338	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO <sub>2</sub>

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成28年度 ～ 平成30年度 (報告年度 平成30年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。  
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。  
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。  
4 ※印の欄は記入しないでください。  
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

### 事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 9,004 (調) 8,845 t-CO <sub>2</sub>	(実) 8,450 (調) 8,299 t-CO <sub>2</sub>	(実) 8,672 (調) 8,517 t-CO <sub>2</sub>	(実) 8,745 (調) 8,588 t-CO <sub>2</sub>	(実) 8,927 t-CO <sub>2</sub>
削減率		(実) 6.2 % (調) 6.2 %	(実) 3.7 % (調) 3.7 %	(実) 2.9 % (調) 2.9 %	(実) 0.9 %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	収容トン数、入在庫量、在庫量	単位	g/t		
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量原単位等の値	18.04	17.25	17.46	17.63	17.83
削減率		4.4 %	3.2 %	2.3 %	1.2 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	基準年度に比べ原単位では4.4%の減少となった。一方、温室効果ガスの排出量については6.2%の減少となった。その理由としては、東扇島第一、東扇島第二にて、高効率型冷凍設備更新による効果で減少となっている。
第2年度	基準年度に比べ原単位では3.2%の減少となった。一方、温室効果ガスの排出量については3.7%の減少となった。その理由としては、東扇島第一、東扇島第二にて、高効率型冷凍設備更新による効果で減少となっている。但し、荷物量増加により、第1年度と比較すると減少効果が落ちている。
第3年度	基準年度に比べ原単位では2.3%の減少となった。一方、温室効果ガスの排出量については2.9%の減少となった。その理由としては、東扇島第一、東扇島第二にて、高効率型冷凍設備更新による効果で減少となっている。但し、昨年度と比較して荷物量増加していることから、第1年度・2年度と比較すると削減効果が順に落ちてきているが、目標とした削減は達成できた。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

<p>&lt;全社目標&gt;                      前回同様に引き続き前年等のデータから省エネ対策の再確認をし、管理標準による効率的な運用方法を実施している。                      削減目標については、全社目標としていた前年度比1%以上削減に対し、原単位比で2.1%の減少となり、今回は、目標を達成することが出来た。</p>
---

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○推進体制の整備 本社と市内全センターを含めた組織横断的な委員会を設置し、推進体制を整備し、各部署間で情報交換を行う。</li> <li>○主要設備等の保安全管理 主要設備について作成している管理標準の運用を実施を継続していく。そして、管理標準を定期的に見直す事と共にエネルギー消費に関わる数値を記録管理して状況を把握しておく。</li> <li>○成績係数COPによる冷凍機適正管理についても実施計画を立案し、実行していけるよう検討していく。</li> <li>○照明設備の運用管理 照明設備更新時はハイランプ又はLEDランプ等の省エネルギー型設備の導入を実施していく。</li> </ul>
	第1年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○推進体制の整備 本社と市内全センターを含めた組織横断的な委員会を設置し、推進体制を整備し、各部署間で情報交換を実施している。</li> <li>○主要設備等の保安全管理 主要設備について作成している管理標準の運用を実施を継続。そして、管理標準を定期的に見直す事と共に、状況により変化もあるエネルギー消費に関わる数値を記録管理して把握している。</li> <li>○照明設備の運用管理 照明設備更新時は、器具不良によるものについては、ハイランプ又はLEDランプ等の省エネルギー型設備の導入をしている。</li> </ul>
	第2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○推進体制の整備 本社と市内全センターを含めた組織横断的な委員会を設置し、推進体制を整備し、各部署間で情報交換を実施している。</li> <li>○主要設備等の保安全管理 主要設備について作成している管理標準の運用を実施を継続。そして、管理標準を定期的に見直す事と共に、状況により変化もあるエネルギー消費に関わる数値を記録管理して把握している。</li> <li>○照明設備の運用管理 照明設備更新時は、器具不良によるものについては、LEDランプ型の省エネルギー型設備の導入をしている。</li> </ul>
	第3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○推進体制の整備 本社と市内全センターを含めた組織横断的な委員会を設置し、推進体制を整備し、各部署間で情報交換を実施している。</li> <li>○主要設備等の保安全管理 主要設備について作成している管理標準の運用を実施を継続。そして、管理標準を定期的に見直す事と共に、状況により変化もあるエネルギー消費に関わる数値を記録管理して把握している。</li> <li>○照明設備の運用管理 照明設備更新時は、器具不良によるものについては、LEDランプ型の省エネルギー型設備の導入をしている。</li> </ul>
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	



## 4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし。
第1年度	なし。
第2年度	なし。
第3年度	なし。

## 5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	<p>1. 廃棄物の分別化の推進を図る。</p> <p>弊社業務で発生するラップ・バンド・ダンボールの資源ゴミを分別し、リサイクル業者への引取りが可能な廃棄物に対しては実施しており、今後においても継続する。年間では、東扇島第一物流センターにて、空き缶・空き瓶0.2t、ダンボール2.0t、雑誌・紙類2.2tを資源化する目標とする。</p>
第1年度	<p>弊社業務で発生するラップ・バンド・ダンボールの資源ゴミを分別し、リサイクル業者への引取りが可能な廃棄物に対しては実施しており、今後においても継続する。年間では、東扇島第一物流センターにて、空き缶 0.3t 空き瓶 0.2t ダンボール 2.0t新聞雑誌 0.7tとなっている。</p>
第2年度	<p>弊社業務で発生するラップ・バンド・ダンボールの資源ゴミを分別し、リサイクル業者への引取りが可能な廃棄物に対しては実施しており、今後においても継続する。年間では、前年同様に東扇島第一物流センターにて、空き缶 0.3t 空き瓶 0.2t ダンボール 2.0t新聞雑誌 0.7tとなっている。</p>
第3年度	<p>弊社業務で発生するラップ・バンド・ダンボールの資源ゴミを分別し、リサイクル業者への引取りが可能な廃棄物に対しては実施しており、今後においても継続する。</p>

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	8,226	t-CO <sub>2</sub>
(調)	8,001	

イ 第3号該当者等

(実)		t-CO <sub>2</sub>
(調)		

(2) 事業所等单位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500kl以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
東扇島第一物流センター	川崎市川崎区東扇島30-2	0	0	3,087 t-CO <sub>2</sub>
		0	0	t-CO <sub>2</sub>
		0	0	t-CO <sub>2</sub>
		0	0	t-CO <sub>2</sub>

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl以上1,500kl未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
東扇島ロジスティクス・サービスセンター	川崎市川崎区東扇島17-0	0	0	2,150 t-CO <sub>2</sub>
東扇島第二物流センター	川崎市川崎区東扇島24	0	0	1,940 t-CO <sub>2</sub>
東扇島第五物流センター	川崎市川崎区東扇島29-0	0	0	1,044 t-CO <sub>2</sub>
		0	0	t-CO <sub>2</sub>

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	
300～400kl 未満	
200～300kl 未満	
100～200kl 未満	
100kl 未満	1

(3) 事業所等单位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
		0	0	t-CO <sub>2</sub>
		0	0	t-CO <sub>2</sub>
		0	0	t-CO <sub>2</sub>
		0	0	t-CO <sub>2</sub>

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--